

様式 A 情報処理応用演習Ⅱ（寺元）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	情報処理応用演習Ⅱ Exercise in Information Processing II		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門 情報・制御	授業形態・学期	演習・後期
	対象学生	MS-1,EC-1	必修・選択の別	選択
教員に かかわ る情報	担当教員・所属	寺元貴幸・情報工学科		
	研究室等の連絡先	研究室：情報棟4階（内線：8289） E-mail：teramoto@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	情報学／情報学基礎／情報学基礎理論		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(2)専門分野技術の知識を修得し，機械やシステムの設計・政策・運用に活用できる能力を身につける」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育目標は「(C) 情報技術の修得，C－1：「(機械・制御システム技術者)・(電気・電子・情報技術者)に必要な情報技術を修得し，活用できること」であるが，付随的には，「A－1」および「C－2」にも関与する。		
	授業の概要	本演習では，すでに基本的なコンピュータリテラシー能力を習得した学生を対象に，さらに高度なシステム管理能力や初学者への指導力，そして表現力を身につけるための演習を行う。		
	学習目的	実習を通して情報処理技術を身につけるとともに，情報を判断したり評価するために必要な知識や技術をさらに深化させる。		
	到達目標	1． IT 技術のうち情報発信能力に関する技術を習得する。 2． コンピュータを管理するための能力を習得する。 3． 演習やレポートを通じて理解を深化させる。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが，これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。		
履修のアドバイス		情報処理基礎演習Ⅱと同時に履修する事はできない。情報処理基礎演習Ⅰもしくは情報処理応用演習Ⅰを履修している事が望ましい。		
基礎科目		各学科の情報処理に関連する科目および演習		
関連科目		工学倫理（専1年），情報処理応用演習Ⅱ（専1年） 情報処理基礎演習Ⅱ（専1年）		

授業にかかわる情報				
授業の方法			演習を中心に授業を進める。情報処理に必要とされる知識全般が習得できるよう演習を進める。また、理解が深まるようレポートを課す。	
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	前 期	1 週	・ 概要説明〔ガイダンス〕	・ 各課題とも授業中の説明にもとづき、演習室もしくは研究室の P C 上でドキュメント、資料の作成をすすめる、次の授業で問題点や進行状況を報告できるようにする。 ・ 各課題は 1 ～ 2 週間で完成させ、ドキュメント等のファイルを期日までに提出すること。
		2 週～3 週	・ TeX システムの概要説明と学習環境の構築と演習	
		4 週～5 週	・ 組み版システムの歴史と技術に関する学習	
		6 週～8 週	・ メタフォント並びにポストスクリプトフォントや画像ファイル（EPS 他）の取り扱いに関する演習	
		9 週～10 週	・ パソコンの OS や Office ソフトなどすべてフリーソフトを利用した演習環境の構築実験を行う演習	
		11 週～13 週	・ visio によるフローチャートや各種設計図の作成	
		15 週	・ 身につけた技術をつかい、テーマを決めてプレゼンテーションを行う。 ・ 演習のまとめと相互評価を行う	
教科書，教材等		教科書：なし 参考書：必要に応じて資料を配付する		
成績評価方法		演習の計画性と実施状況，課題の提出状況 （5 0 %） プレゼンテーションと議論への参加態度 （4 0 %） 発表・提出された課題やプレゼンテーションを学生が相互に評価した結果（1 0 %）		
受講上のアドバイス		コンピュータ・ネットワーク等に関する指導的・管理的役割を担える技術者を目指すこと。自主的に課題を見つけるテーマが多いので日頃から広く技術動向に注意を払っておくこと。科目の性格上、必ずしもすべての項目にわたって精通する必要はないが、技術者が情報収集や学会発表を行う際に必要な情報処理技術を中心に演習を行う。 遅刻の扱い：授業開始時の出席確認以降の入室は遅刻として扱う。なお、1 時間の半分の時間経過後は欠課として扱う。		